

**安全上のご注意** ご使用前に必ずお読みください。

**危険**

⚠️ 高圧線への接近による放電や感電、さらに落雷による感電は、最悪の場合重大事故(感電死)を招く恐れがあります。尚、水に濡れたグラスロッドも同様の危険がありますのでご注意ください。  
気象条件により、空気中に電気を帯びている場合があります。ヒリヒリと電気を感ずるのはその為です。天候の変化等により危険を伴いますので、そうした場所での釣りはお避けください。落雷・感電による感電死を招く恐れがあります。

⚠️ **電線との接触による感電** 高圧線・線路・鉄橋等の電線による感電に注意してください。釣竿は素材特性上、電気をよく伝えます。特に電線等に接触、または、釣竿を近づけただけでも感電して死亡事故の原因となります。釣り場を移動する時は竿をたまたみ、高圧線・線路・鉄橋等の電線の下または近くでは絶対に使用しないでください。

⚠️ **雷雨による感電** 雷雨による感電に注意してください。使用中、雷が発生した時は、ただちに釣竿から離れ、安全な場所に避難してください。また、雷の発生がなくても、釣竿から電気を感ずるようなときも同様に、ただちに釣竿から離れ、安全な場所に避難してください。

⚠️ **釣竿以外の電線による感電** 釣竿以外で釣竿を使用し、電線に触れる事故が発生しています。釣竿を使用する時は、周囲の安全に十分注意してください。

**警告**

⚠️ **キャスト(投げ)時の注意** キャスティング(投げ)の時は、周囲に人がいないか、十分に安全を確認してください。釣針が人にささったり、ルアーフック、オモリ等が人に当たると非常に危険です。

**注意**

⚠️ **固着のゆるめ方** 釣竿の固着(継ぎ部が食い込んで外れない時)は、継目の両側近くに、すべり止めを当てて握り、互いに逆方向へヒネリながら押しつけて(振出竿の場合)、継目をゆるめてください。その際、一気に力を入れると釣竿の継目に手をはさみ、けがをすることがあります。  
●竿の構造上、固着を完全に防止することはできません。固着をゆるめる時等、強く竿を握ると竿が潰れて破損し、手等に怪我をすることがありますのでご注意ください。  
●固着をゆるめる時等、ガイド部分を握って節の抜き差しはしないでください。ガイドの変形や糸止部の破損の原因になり、手等に怪我をすることがありますのでご注意ください。

⚠️ **根掛かりの外し方** 根掛かり(水中、陸上での障害物に仕掛けが絡みはすれない状態)した時は、無理に竿をあおらないでください。竿が折れたり、外れた仕掛けが飛んで、けがをすることがあります。根掛かりは、出来るだけ、糸を手にとって引っ張って糸を切ってください。その際、糸で手を切ることがありますので、手袋やタオルで手を保護してください。

⚠️ **破損時の取り扱い方** 使用中、万が一釣竿が破損(折れ、割れ、欠け、剥離)した場合、破損した箇所を手だけが握るおそれがあります。

⚠️ **子供の手の届く所に置かないでください** 誤使用による事故や怪我に繋がる恐れがあります。

⚠️ **釣竿を釣り以外の目的に使用しないでください** 事故や怪我につながる恐れがあります。

⚠️ **竿の一部や穂先等を無理に曲げると折れることがあります** 折れた竿の一部が反動で顔や体に当たり、怪我をすることがありますのでご注意ください。

⚠️ **安全に釣りして頂くために** 万が一、竿が破損してしまった場合、破損した竿の一部が反動で顔や体に当たり、怪我をすることがあります。釣りをする際には、安全のためサングラス(偏光ガラス)、帽子の着用をお勧めします。

※本製品の本体には法律に基づき、竿による感電に注意して頂くよう注意喚起シンボルシールが貼ってあります。簡単にはがれないように、シールの上にコーティングしてありますので、はがさないようお願いいたします。尚、印刷されている機種もあります。

**本製品の仕上げについて**

本製品は1本1本手仕上げをおこなっているため、製品によって色味、風合いが微妙に異なります。全ての製品がそれぞれ独自の表情を持っており、それが本製品の特徴です。

**株式会社シマノ**

〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地  
お問い合わせ  
**0120-861130** (ハローイサオ)  
【受付時間】AM9:00~12:00 PM1:00~5:00(土、日、祝日は除く)

**http://www.shimano.com**

新製品情報・釣り情報など、フィッシングライフに役立つ、シマノならではのオリジナル情報を発信しています。また、カタログのお申し込みも受け付けています。  
■アフターサービスに関する情報やパーツ互換性の検索、メンテナンス動画などご視聴いただけるHPアドレス：  
<https://www.shimanofishingservice.jp/>



7WHRCMYM000-003

**竿掛 玉ノ柄**

SHIMANO  
CARBON ROD  
取扱説明書

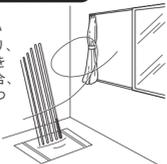
SHIMANO

このたびは、シマノカーボンロッドをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この説明書をお読みのうえ、永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。

**お手入れ**

**釣行後のお手入れもお忘れなく**

釣行後は、汚れや塩分をきれいに落とし、乾かす必要があります。風通しのよいところで陰干しをしてください。陰干しする場合、竿は穂先から元竿まで一本ずつにして干してください。



車のトランクルームなどに長期間放置しないでください。



高温・密閉状態での長期間放置は、竿の変形など大きなトラブルのもととなります。上記の要領で手入れしたあとは、風通しの良い場所にしまってください。

タワシ・みがき粉・ベンジン及びシンナー等のご使用は絶対に避けてください。



竿の汚れは、真水又はぬるま湯で洗った後、乾いた布でよく拭きとってください。  
注)市販のロッドクリーナーやワックス・洗剤等をご使用になる場合は、くれぐれも注意してください。ロッドによっては塗装及び時にはロッドで傷める原因になります。

竿の表面を布等で強くこすると、塗装の種類によっては色落ちが発生する場合がございます。ただし、塗膜そのものが剥離したり、ロッドの機能に影響を及ぼす恐れはございませんので、あらかじめご了承くださいませ。また、衣服等に色が付く場合がありますのでご注意ください。

●ロッドの曲がりについて  
現在のロッド生産技術上、グラスロッド、カーボンロッドの違いを問わず各部分の曲がり100%排除することは不可能な状態です。特にカーボンロッドに於いては繊維自体の持つ強い剛性のため、ロッド全体に垂れ下がりがないので従来ガラスロッドに比べ曲がりなどが目立ちます。強度機能上は問題ありませんので、ご安心ください。

●改造後の責任は負いかねます。  
改造後の故障については、保証期間中であっても負いかねる場合があります。ご注意ください。

●万一の故障の時  
お買い上げの販売店又は、シマノ製品お取扱販売店にお預けください。お近くにシマノ製品お取扱販売店が無い場合や、販売店へ修理品を持ち込む以外の方法を検討される場合には、シマノダイレクト修理サービスもご利用頂けます。詳しくはシマノカスタマーセンター HP (<https://www.shimanofishingservice.jp/>) をご覧ください。その際、保証書付きの商品は保証書とお買い上げ年月日の記載がある購入証明を添えてください。

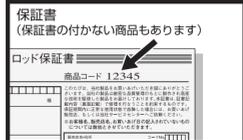


※この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造中止後6年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外には製造中止後6年以内でも供給できない可能性がございます。

**竿掛・玉ノ柄の修理に関するお願い**

パーツを注文される際には、必ず商品名と商品コード番号をお知らせください。

※商品コード番号は、数字の5ケタまたは6ケタになっています。(例)CODE No.12345 または CODE No.123456



竿掛・玉ノ柄の「合わせ部分」(継ぎ部分)は、一本、一本、現品を合わせて、非常に精巧に作られています。

修理される際には、破損部分だけでなく、製品本体全部をお買い上げ小売店にお預けくださいますようお願いいたします。

お急ぎの場合、部品(パーツ)で注文される場合には、必ず商品名と商品コード番号をお知らせください。

商品コード番号は、保証書(保証書の付かない商品もあります)、パッケージのラベル等に記載されています。商品コード番号を控えて、修理の際には必ず御提示ください。

●修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。修理対応期間につきましてはシマノカスタマーセンター HP (<https://www.shimanofishingservice.jp/>) をご覧ください。

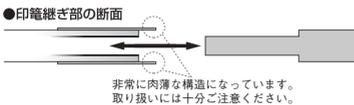
**使用上のご注意**

**印電継ぎ部について**

竿掛、玉ノ柄の印電継ぎ部(継ぎ部)は、非常に肉薄な構造になっております。取り扱いには十分ご注意ください。

- 継いだり、抜いた際は十分ご注意ください。
- 端部を棧橋、舟べり等堅い物に当てないでください。

仕舞う時は、必ず口栓をして仕舞ってください。



●印電継ぎ部の断面  
非常に肉薄な構造になっています。取り扱いには十分ご注意ください。

**竿を伸ばすときの注意**

●口栓をはずす時は、真上に引き抜くようにはずしてください。無理にひねったり、こじたりすると玉口部分を傷つけることがあります。



**竿の仕舞時の注意**

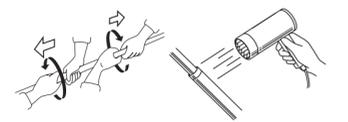
●竿を仕舞う時は、まず元竿から順に一本ずつ抜いてください。その時にまっすぐ抜こうとせずに、手で少しひねってゆるめてから抜いてください。

●竿の表面についた水分はきれいに拭き取ってから仕舞ってください。濡れたまま仕舞いますと、竿の内面に水分が残り、塗装不良の原因になります。特に雨の日はご注意ください。

**竿が固着した場合**

すべり止めゴムシートなどを当てて図のように2人で向き合い、継ぎ目に近いところをしっかりと握ります。そしてお互いに逆方向にヒネリながら抜いてください。水気によって固着したときは、ドライヤーなどで乾かすと納めやすくなります。

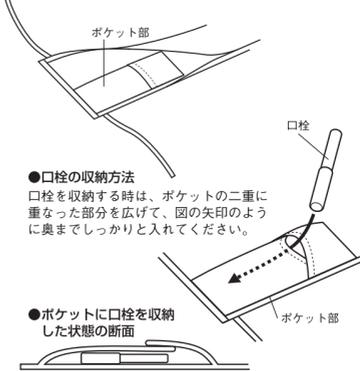
ドライヤーを竿に近づけすぎないようにしてください。



竿の固着は、水が付着したときなどによって多少は起こります。上記の方法ではずれない場合は無理にはずそうとせず、裏面のシマノサービスにご相談ください。

**竿袋のご使用について**

竿袋には口栓を収納しておくポケットが付いています。口栓を紛失しないようにこのポケットに入れておくことが便利です。なお、このポケットは脱落防止のための密封機構は付いていませんので口栓を収納する際はしっかりと奥まで入れてください。



●口栓の収納方法

口栓を収納する時は、ポケットの二重に重なった部分を広げて、図の矢印のように奥までしっかりと入れてください。

●ポケットに口栓を収納した状態の断面

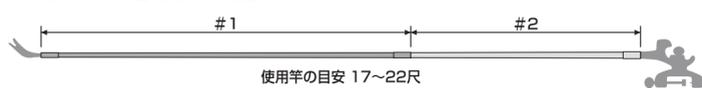
**竿掛、玉ノ柄の長さバリエーションについて**

**竿掛二本物の長さのバリエーション**

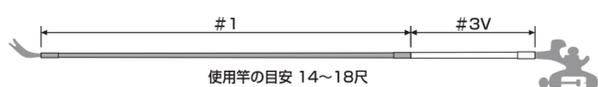
● #1+#2+#3V 全てご使用の場合



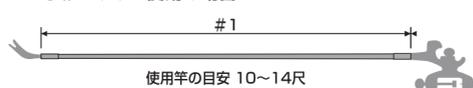
● #1+#2 をご使用の場合



● #1+#3V をご使用の場合

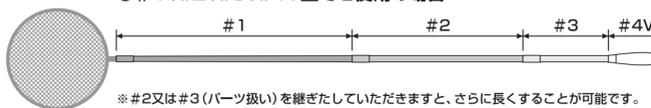


● #1のみご使用の場合



**玉ノ柄二本物の長さのバリエーション**

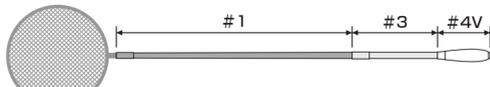
● #1+#2+#3+#4V 全てご使用の場合



● #1+#2+#4V をご使用の場合



● #1+#3+#4V をご使用の場合



● #1+#4Vのみご使用の場合



**竿掛、玉ノ柄のパーツ構成について**

● 竿掛二本物



● 玉ノ柄二本物

